

令和5年度事業報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

1. 事業概要

公益財団法人奈良市生涯学習財団は、市民の教養の向上、健康の増進、情操をゆたかにすること、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業及び児童に健全な遊びを与える事業を行うとともに、市民目線での施設運営を行い、学習環境の整備及び子どもにやさしいまちづくりを促進した。

公民館では、自由で主体的な学びを通して、市民の人生をより豊かにするとともに、社会や地域の課題を解決する力を向上させることを目指した。また、子ども・若者から高齢者まで幅広い世代、多様な人々にとって、公民館がいつでも気軽に利用でき、人々の交流と相互理解につながる地域の拠点となるための取組を進めた。さらに、地域の学校園や各種団体、様々な目的を持つ市民活動と連携・協力し、より良い地域社会づくりを目指して事業を行った。

5月8日から新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類感染症になったことを受けて、公民館事業においては計画どおりに事業を展開することができた。施設提供についても活動内容及び利用者数の制限を解除し、全ての活動を気兼ねなく行えるよう環境づくりに努めた。結果、公民館事業・施設提供ともに活気を取り戻し、前年度より利用者数が増加した。

男女共同参画センターでは、市民の男女共同参画社会への意識向上を図り、その推進に向けた活動拠点として、団体の自主的な活動の場、情報収集の場、交流の場となるよう努めた。

西部会館市民ホールでは、市民が気軽に文化芸術に触れることができる施設として、利用の促進に努めるとともに、人生が豊かになるよう市民の文化活動の支援を行った。また、文化に対する興味と関心を高められるよう、情報発信にも積極的に取り組んだ。

児童館では、児童の権利に関する条約（通称：子どもの権利条約）に掲げられた精神及び児童福祉法の理念にのっとり、児童の心身の健やかな成長・発達及び自立を促すことを地域社会の中で具現化することができるよう、児童館の運営を行った。運営に当たっては、保護者をはじめとする地域の人々とともに、年齢や発達の程度に応じて、子どもの意見を尊重し、その最善の利益を優先して、子どもの育成に努めた。児童を取り巻く環境もコロナ禍前に戻りつつあり、それに比例して、子育て支援拠点事業をはじめ諸事業で利用者数が増加した。

2. 事業内容

※（ ）内は対前年度増減率

(1) 受託事業

奈良市から指定を受け、指定管理者として事業方針に基づいた事業を展開した。

① 公民館事業(生涯学習事業)	36,118 件(10.7%)	455,602 人(10.0%)
主催事業	513 件(3.4%)	51,792 人(13.4%)

生涯学習センター・公民館の活性化と、高まる市民の学習意欲と多様なニーズに応えることを目指し、社会教育・生涯学習に関する各種の事業を行い、「誰一人取り残さない」社会を実現していくために、誰もが様々な機会に、様々な場所において学ぶことができるよう学習機会を提供した。また、その成果を個人の生活だけでなく、地域での活動等に生かすことのできる生涯学習社会の実現を目指した。特に、人口減少・少子高齢化が進行する中で、高齢者の学習促進を図り、社会参画や仲間づくりへとつながる事業、安心して子育てができる家庭教育支援の取組を実施し、地域の支援者のつながりが創出されるようにも努めた。

公民館が市民の社会教育・生涯学習の拠点となり、障害や差別などの様々な社会的ハードルを下げ、全ての市民が自由に学ぶことができる場を提供し、誰もが地域社会の一員としてつながり続けることができるよう機会の充実を図った。

なお、各施設が5年毎に策定している事業計画の1年目であり、これまでの5年間の成果・課題を踏まえた目標を策定し、その目標達成のために着実に事業を進めた。

市民がいつでも気軽に利用できる生涯学習活動の拠点として、市民目線で、公民館の効率的な管理運営をおこない、適正な施設提供を行った。

令和3年度より進めているWi-Fi環境の整備について、地区館での置き型Wi-Fi機器の貸出に続き、令和4年度は大型館でフリーWi-Fiを導入し、令和5年度はその周知に努めたことにより、公民館利用者の利便性の向上やITを活用した公民館活動の更なる進展につなげ、次世代を担う若い世代の利用を促進した。

奈良市生涯学習センターは、駐車場や多目的トイレの利便性向上と共有スペース拡幅ための改修工事により、11月1日から3月31日まで臨時休館をした。

また、「子どもの参画ネットワーク奈良」との協働で行っている、子どもが社会の仕組みを楽しく学ぶイベント「子ども奈良CITY」を引き続き開催し、子どもが一人の市民として尊重され、自信に満ちた社会の一員へと成長することを支援した。

○ 教養・文化・国際交流に関する事業	73 件 (△3.9%)	7,765 人 (5.5%)
「生涯学習の入り口へようこそ～奈良博の仏様の味わい方～」		
「朗読会 IN 南部」 「多聞城に関する謎と諸説」		
「飛鳥お宝探訪～奈良ホテル編～」 「都祁散策 (ナイトハイクー田の虫送りー)」 他		
○ 教育・福祉・人権に関する事業	65 件 (△11.0%)	10,482 人 (17.8%)
「自分らしく生きる」 「弁当の社会学～愛情と不安との関係～」		
「見て知る！フードバンク」 「自宅で最期を迎えるために」 「昔の暮らし伝承隊」 他		

- 芸術・芸能に関する事業 93 件 (△2.1%) 6,573 人 (△7.6%)
「はじめての“漆細工”」「書道を愉しむ～男性編～」 「興東の自然を撮ろう」
「始めよう！ウクレレ」「子ども陶芸教室」 他
- 科学・情報・産業技術に関する事業 30 件 (7.1%) 853 人 (0.1%)
「ワードでチラシを作りましょう」「川の生物を調べよう！」
「初心者向けスマホ講座」「YouTube を始めよう！」
「STOP 温暖化！地球のためにできること」 他
- 家庭生活・市民生活・娯楽に関する事業 165 件 (14.6%) 15,095 人 (13.6%)
「みんな DE つくるスパイスカレー」「子育ておはなし広場」
「味わい深いキムチ作り」「内面キラリ・大人メイクのコツ」
「親子でチャレンジ！DIY」 他
- 健康・衛生・環境に関する事業 47 件 (4.4%) 2,944 人 (6.8%)
「夢を叶える『時間の整理術』」「引っかけたらあかんで！特殊詐欺」
「『眠れない』からサヨウナラ」「生物多様性と環境保護—ペタキンを守る—」
「とみなん防災講座～夜の避難、慌てないために～」 他
- 体育・スポーツ・レクリエーションに関する事業 40 件 (14.3%) 8,080 人 (50.2%)
「いざ！男のスポーツウエルネス吹矢」「ハワイアンフラダンス SHOW」
「初めての軽登山」「ピラティスでリフレッシュ」「ソフトテニスに挑戦！」 他
- 施設提供 35,605 件 (10.8%) 403,810 人 (9.6%)

[指定管理施設]

奈良市生涯学習センター	奈良市立中部公民館	奈良市立西部公民館
奈良市立南部公民館	奈良市立三笠公民館	奈良市立田原公民館
奈良市立富雄公民館	奈良市立柳生公民館	奈良市立若草公民館
奈良市立登美ヶ丘公民館	奈良市立興東公民館	奈良市立春日公民館
奈良市立二名公民館	奈良市立京西公民館	奈良市立平城西公民館
奈良市立伏見公民館	奈良市立富雄南公民館	奈良市立平城公民館

奈良市立飛鳥公民館
奈良市立平城東公民館

奈良市立都跡公民館
奈良市立月ヶ瀬公民館

奈良市立登美ヶ丘南公民館
奈良市立都祁公民館

計 24 施設

② 男女共同参画センター（生涯学習事業）

施設提供 57 件 (-%) 680 人 (-%)

男女共同参画社会を推進するための活動拠点として、施設提供と情報提供を中心に効率的に運営に努めた。運営にあたっては、男女共同参画に関する広報や啓発を重視し、関連書籍を閲覧・貸出できる図書コーナーや情報提供スペースを設け、利用者にとって新しく必要な書籍や情報に目がとまり、手に取ってもらえるよう配架や掲示方法にも工夫を重ね、活動団体がより積極的に活動できるよう、会議室の受付業務や環境整備に努めた。

なお、11月1日から3月31日まで奈良市生涯学習センターの改修工事に伴い、臨時休館した。

[指定管理施設]

奈良市男女共同参画センター

計 1 施設

③ 西部会館市民ホール（生涯学習事業）

入館者数 34,116 人 (16.5%)
企画事業 9 件 (△50.0%) 2,533 人 (△30.8%)

貸館事業を中心に、様々な団体が市民ホールを発表の場として活用した。このことを通して、発表する市民と来場者である市民がともに主役（主体）となって、文化・芸術に親しんだ。また、市民の文化に対する意識の高揚を図り、市民の文化活動の支援を行った。さらに、文化施設として市民ホールを周知するための広報にも力を入れ、市民にとって身近な施設になるよう努めた。

市民が利用しやすい文化施設として、活動成果である文化・芸術の発表の場となるよう、市民の立場に立ち、適正かつ効率的な施設運営を行った。

[指定管理施設]

奈良市西部会館市民ホール

計 1 施設

④ 児童館事業（児童福祉事業）

利用者数合計 26,169 人 (17.6%)

児童の健全育成とともに市民との協働による子育て支援の拠点として事業を展開した。児童福祉法の理念及び奈良市子どもにやさしいまちづくり条例にのっとり、子どもの心身の健やかな成長・発達及びその自立を促すことを地域社会の中で具現化することができるよう、児童館の運営を行った。運営に当たっては、学校と密に連携をとりながら、保護者をはじめとする地域の人々とともに、子どもの年齢や発達の程度に応じた意見を尊重し、その最善の利益が優先されるよう、子どもの育成に努めた。

具体的には、0歳から18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助を行い、自尊感情や自己肯定感、自主性・社会性を育むとともに、情操を豊かにするなど子どもの心身の育成に努めた。児童館は遊びだけでなく、学習する環境も整えている。小学生は下校後、児童館に集い、学習支援を受け、宿題等の勉強に取り組んだ後、友達との遊びに興じることが一連の流れとなっていることにより、学習習慣が自然と身につき、生きる力を育んできた。

また、子育て家庭の孤立や育児不安が広がっている中で、子育て相談などの子育て支援を日常的に行い、こまめな声掛けにより課題の早期発見や問題発生の予防的な福祉機能を果たすよう努めた。

さらに、子どもたちが地域社会と接点を持つ活動や、子どもを中心とした地域のネットワーク構築を行い、地域での子育て環境づくりを推進することで、子どもにやさしいまちづくりに寄与することを目指した。

令和5年度は、「児童館ガイドライン」等を参考に、座談会や親子事業等の充実した事業を展開するとともに、より多くの子どもたちにとって児童館が学校でも家庭でもない第三の居場所として、心の拠り所となるように運営を行った。また、児童館の対象でありながら利用することの少なかった中学生・高校生たちには、「わくわく子どもフェスタ」等のボランティア活動をきっかけにして、来館を促すよう努めた。併せて思春期の発達特性をよく理解し、自主性を尊重し、社会性を育めるよう援助をした。保護者に対しても、日常生活の子育ての悩みに対して相談を行った。

これらについて事業アンケートを実施し、児童や保護者のニーズの把握をするとともに、事業の質向上にむけて適宜、職員研修を行った。

- 各種活動 19,402人 (22.9%)
「親子ひろば」「あおば教室」 他
- 特別行事 287人 (△30.8%)
「わくわく子どもフェスタ」

- クラブ活動 173 人 (10.2%)
「一輪車クラブ」
- 各種教室 1,446 人 (4.3%)
「サッカー教室」「和太鼓教室」 他
- 自主参加活動 (自由来館) 3,478 人 (△1.2%)
- 会議・その他 (奨励会議・貸館など) 1,383 人 (40.4%)

[指定管理施設]

奈良市古市児童館 奈良市横井児童館 奈良市東之阪児童館 奈良市大宮児童館

計 4 施設

- (2) 自主事業 37 件(△14.0%) 4,243 人(△12.0%)

奈良市の関連諸施策や多様な関係機関との連携を図り、以下の 4 分類にわたって事業を開催し、多様な学習ニーズに応えることのできる学習機会を提供した。また、当財団の取組をより多くの人々に PR するとともに外部収入を獲得するため、職員の特技や専門性を生かし、4 件の講師派遣等の事業展開を行った。さらに、自主財源の確保と事業内容の充実のため、外部資金による事業を開催した。

- 教養・文化・国際交流に関する事業 1 件(△66.7%) 555 人(△36.8%)
奈良ひとまち大学
- 教育・福祉・人権に関する事業 22 件(△24.1%) 1,106 人(△24.0%)
家庭教育サポートネットワーク支援事業
「絵本ひろば IN 南部～なぞと時の世界へようこそ～」
「ゆったり子育てひろば～よろず相談会～」 「やすまるさんハイキング」
「親子でチャレンジ!野菜づくり」 「親業って、しんどいよね」
「子どもの笑顔、それが私の幸せ」 「へいじょう子育て交流会」
「子どもの立ち直る力を育てる」 「みんなで作ろう 田舎巻き寿司」 他
- 家庭生活・市民生活・娯楽に関する事業 6 件 (0.0%) 2,396 人 (1.1%)
奈良市子育てスポット事業

「おやこひろば」「子育てママのひととき」「なかよしクラブ」
「子育てのんびり空間」「二名にここ広場」「ぷよ☆ぷよの会」

○ 健康・衛生・環境に関する事業

8件 (60.0%) 186人 (57.6%)

麒麟・地域のちから応援事業

「カードゲームでつながろう！まちの魅力を再発見 in 朱雀」 他

子どもゆめ基金助成事業

「つげまるごと自然体験&発見（川探検）」

「つげまるごと自然体験&発見（カヌー教室）」

「つげまるごと自然体験&発見（星空探検）」

「つげまるごと自然体験&発見（森探検）」

「つげまるごと自然体験&発見（ネイチャークラフト）」